

昭和五年六月號

工事タイムス

◆鐵道◆

〔大阪地下鐵〕 大阪市高速鐵道の地下鐵第一期工事も愈々既報の如く大林組の手に依て開始せられ近くパイル打込用の膨大な機械六臺も到着する筈であるが、同機の能力としては一日約三枚から百枚以上のパイルを打込むもので日下清水組の請負工事になる市高速度鐵の梅田驛北手の工事では一日約百枚位を打込んである、尤もこのパイルの枚数の差異は地盤の強弱によるが普通初めの一打で一時を打込み次には約一呎、續いて五呎と云ふ順序で地下に向つて打込まれて行くのであるが、淀屋橋、御堂筋の地盤は梅田方面と比較してトテモ硬く例へ一時打込んで次も矢張り一時といふ具合に極少しづゝより打込めないらしく現在の處では一日約十二枚位しか打込めないらしい模様である。

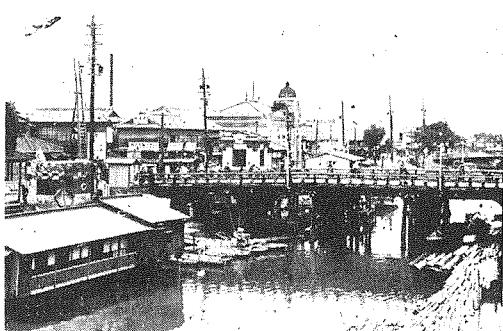
而して同工事の今一つの難關としては堂島川、土佐堀川の二大大河を潜らねばならぬ、即ち河底の地下を横断するもので過般竣工したる東京地下鐵の萬世橋の地下を潜つた時は鐵船の大きなものを河底に沈下して、水を半分宛擋止める方法をとつたが同法は完全なものとは云はれず水壓のため破壊されるおそれがある、最も進歩したやり方としては壓搾空氣を利用して非常に強大な力で地中へ蒲鉾形に鑿入してトンネルを掘り得るものであるが同機は百萬圓を要し價格の點では到底採用は覺束ないものと思はれ多少危險を作ふが經濟的である東京地下式に河水を仕切つて徐々に工を進める豫定であると云ふ、蓋し近來の難工事としての資格は充分に備つてゐるものとされてゐる。

〔東京地下鐵〕 東京地下鐵道では第三期工事として現萬世橋停留所を延長して神田驛(省線)に至り更に三越吳服店に至る鐵道敷設事中で來年末には該線の開通を見るに至るであらうとされてゐる、尙過般本地元の反対を受けてゐた須田町地下掘作業も東京市高速地下鐵須田町線との關係上通過地點を變更し道路中央部を通ることとなつて諒解が成つた、神田驛では地階にて省線と連絡し三越にては地下二階式として最低部に停留所を設けこゝに三越との連絡を行ひ乗客の吸収策を講するものである。同時に該線の開通を見るに至れば現萬世橋の停留所を廢止し神田驛に新設することとなつて居る

〔南武鐵道〕 南武鐵道尻手、濱川崎間はこの程開通して同線立川より直通することとなつたこれによつて、稻田堤登戸等の遊覽地を控へた地理的關係を利用し東海道線、中央線に連絡する同線は大いに發展の餘地あるものと見られ、同電鐵にてはなほ立川飛行場間及西府、國分寺間の豫定線を計畫してゐる。

〔日光登山鐵〕 日光登山鐵道株式會社に於ては柄工事進捗す 木縣日光町日光電氣軌道株式會社馬返電車終點である大谷川右岸を起點として明知ヶ平に至る零哩五十五鎮の鋼索鐵道の工事既に七分通りの進捗を見今年中に開業のはこびに至る豫定であるといふ、同社にては右竣工の曉には更に右明知ヶ平より日光町中宮祠に至る一哩二十五鎮を電氣鐵道としてその工事に取りかゝる筈であるといふ、右工事の總て終了する時は現在の馬返より中禪寺湖に至るに徒步又は自動車によるの不便を除き得て僅か十七八分を以て馬返より中禪寺湖東畔に達し得るものであるといふ。

〔山梨電鐵の甲府〕 かねて工事を急いでゐた、山カジカ澤間竣工 梨電鐵甲府カジカ澤間十四哩餘鎮はこの程完成を見るに至り電氣設備としては二



(1) 和歌山市京橋の舊態

十六日遞信省の立會試験に合格したので、五月早々華々しく開通式を舉行することとなつた、この電鐵の特長とする處は電氣設備であつて全部水銀整流機を採用してあることである、日瑞貿易の納入にかかる BBC 三百キロ四臺を各變電所に設備されてゐるものでその性能に注目せられてゐる、尙該電鐵の開通による同地一帯の利便も甚大なものとして同地住民は喜んでゐる。

〔工事を急ぐ〕 三信鐵道
〔三信鐵道〕 は日下河内一川合(三河)間四十三哩四分の豫定線を兩方より起工して居り約十哩の土木工事を了へることとなつた、

續いて電車運轉の開始につきそれを工を急ぐこととなつてゐるが、來年の二月末には河内を起點として約五哩三河川合を起點として約六哩内外の一部運轉を實施する豫定である、右は同社の資金その一隧道工事の難關による一時凌ぎの対策であると見られてゐる。

〔土露鐵道〕 シベリヤの穀類、木材や中央亞細亞敷設成るの棉花及生絲の交易を中心とする經濟的意義を期待されてゐるトルキスタン・シベリヤ鐵道は起工以來既に三年、ソヴエート政府當局の作業も最近では著しく進捗し、一、四四二キロメートルに達する全線の敷設工事を終つた、然し驛舎、車輛、其他鐵道必需品の建設乃至は製作が今日猶殘されて居り、更に専門的技術を有する鐵道從業員約三千餘名の不足を訴へつゝあるので頭初の豫定即ち一九三〇年五月一日より一列車折返し運轉△同年十月一日より四列車折返し運轉△一九三一年一月一日より正規運轉開始は困難であらうと見られてゐる。

〔滿鐵列車〕 滿鐵では各鐵道會社に先鞭をつけに無線計畫するため永年研究中である列車の無線電話装置をいよいよ本年より本式に其の研究に従事する事となつた、日下滿鐵電氣部では豫算百萬圓を以て本年中に一部を完成する豫定を以て山根、杉本の二技師専任となつて研究中であるが、更に研究を進めるために近く上京し各方面と折衝して知識を練る事となつてゐる、同計畫は先頃鐵道省が房總

線に實施する豫定を以て目下研究中であるが、これと併せて滿鐵の此の計畫は頗る多方面で注目されてゐる。

〔關東電鐵第一期工事に着手〕

埼玉縣古賀を終起點として茨城縣土浦に至る三十六哩の敷設設計

畫を有する關東電氣鐵道はこの程その第一期計畫とする古賀一祝井町間八哩餘鎌の土木工事に着手することとなつた、敷設方式としては單線シングル・カーテナリ式のもので工事を急いでゐる、尙同社は目下第二期第三期の豫定線路を變更することなり同時に社内の改革を實施するもので近く開

催される株主總會に於て右の決定承認を得る筈である。

◇隧道◇

〔丹那隧道工事進捗〕

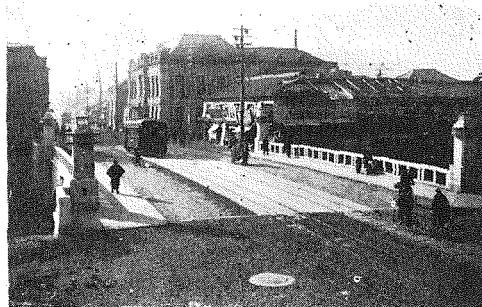
世界的注目的となつてゐる丹那隧道建設工事は最近頗る進捗を見、去る六日現在の工程につき本省建設局に報告されたところに依ると東口は既報のセメンティジョンを施した後を施工中で一日 3 尺平均の掘進を示して居り、進度は 10,132 尺となつて居る、西口は一日 8 尺乃至 10 尺の工程を以つて進んで居るので現在の形勢から見て残り 3,850 尺は格別の支障なき限り明年三月中に貫通する事が判明した。

〔愛宕山隧道近く開通〕

東邦工事界に大きなセイセイションを巻き起して昨年三月三十萬圓の工費で飛島組の諸負の下に起工した愛宕山隧道は杉山式工法に依り延長四十間、幅三十尺がこの程愈々帝都の眞中愛宕山下を貫通し無事に竣工した依つて目下東京市直營鋪裝工事中の西久保巴町及愛宕下町の道路即ち該隧道が連絡する兩側道路の完成を俟つて来る六月中旬盛大なる開通祝賀式を舉行する筈である。

〔跳上橋の代案に隅田横斷地下道〕

東京市河港課が昨年來計畫してゐた月島と京橋を連絡し交通運輸の便に供すべきタワー・アーチを架橋すべくこれが經費三百六十萬圓を本年度豫算に計上する豫定であったが、市の財政状態を考慮して右は中止と



(2) 新装の和歌山市京橋

なつたが、これに替るものとして隅田川横断地下道を建設に略々決定目下この方針の下に調査を進行しつゝあるから或は昭和六年度には起工の運びに至るだらうと見られてゐる。

◊築 建◊

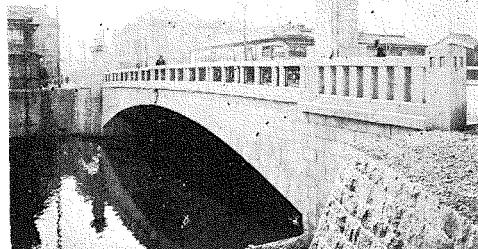
〔大阪に日本一の高層建築〕 大阪朝日ビル

デイング建設計畫が愈々實現の緒につくや各事業者を初め天下の視聽は等しく之れに集中された、即ち同ビルデイングは竹中工務店で設計、工事共請負うて着工したもので、延坪約四千坪、建坪約五百坪、鐵骨鐵筋コンクリート造り地上十一階地下二階建の建物で現在では本邦第一の高層建築物となるものである、尙又同ビルは設備の點も全く整ひ 最新式の装置を至る處に施してある。

即ち外側は二階迄を錆石張として二階以上を純白漆黒の大型タイルを以て極色配合を施し、かつて見ない奇抜なプランである、又建物各室を通じては冷房用として鐵物性の吸湿材アドゾンを使用し更に冬期の温度を得しめる爲めには外側窓は全部重上げ下げサッッシュとして殆ど外氣を入れない迄の装置を施した極めてモダンなものである、同工事は目下東洋コンアレツソルの鐵筋ペデスタル・パイルの八十五尺ものを打込中であり右作業は本末に終了を待つて地下四十五尺の掘鑿を始め七月頃には鐵骨組立に着手し仕上工事は來年早々になり全部の竣工は六年九月の豫定である。

尙竣工の上に内部一階を貸商店に充て二階以上を新聞社及貸事務所に使用し其の他大ホール、食堂等の設備もあり工事費二百萬圓以上を投じて建築せられる、同ビルは堂島川、土佐堀川の中間に巍然と聳え竣工後は蓋し大阪の美觀を一段と添へるであらうと

〔米國の超モダン建築〕 モダンである事に於て斷然他を壓倒するロサンゼルスの或映画俳優が考案して建てたコンクリートとガラスの家は高速度で發達する米國の住宅建築界に於ける最尖端だとあつていやが上にも鼻を高くしてゐるそうだ、健康上理想的の住宅だと御自慢ものではあるが、日光の



(3) 和歌山市京橋全景

差込む方を大きくガラス張りにしたあたりは何の事はない日本式住宅の手法を取入れたに過ぎない觀がある、尤も鐵筋コンクリートだから日本住宅より丈夫には違ひながら、歐米化の跡を追ふに寧日も無い現在の日本に於て建築界に現れた一つの皮肉と見れば見られぬこともない。

〔米國の建築費〕 米國商務次官

クライン博士は本年の米國建築工事費豫想を訂正して最近百十億弗と發表するに至つた。これ迄の豫想額は百億弗であつたから結局割増となるわけである、右の数字には官民各方面の修築及び工事費を含んでゐる

豫想増加の原因は主に商工業用建物の新築が初年想像以上に活潑なためであると。

〔建築會館工事進捗〕 東京銀座西三丁目に敷地をトとして本邦建築界の本據として建てられつゝある鐵骨鐵筋コンクリート造り堂々六階建の建築會館は一、二階に建築材料の陳列室が設けられる、これは我國最初の然も規模の大きいもので建築技術家建築主に建築材料の選擇を便ならしめ、その場で直に商談出来る様に利用されるものである、三階は全部建築會館が占め四、五、六階は一般貸室となすもので貸借希望の受付をこの程開始したが、建築關係者には優先權がある譯である、然して同館は目下七分通り完成し開館は九月下旬の豫定であると。

〔理想的な馬のホテル〕 馬のホテル建設は大阪に於いても目下着工中であるが、神戸市では

一足先に竣工することになつた。即ち同ホテルは神戸市磯上通一丁目に建設されたのであつて近くホテル營業を開始することになつた因みに右ホテルは鐵筋コンクリート造二階建で、延坪四百坪、收容馬は全部で百五十二頭を容れる事が出来る筈で、室内設備は馬ホテルには贅澤過ぎる程完備し換氣採光馬糞の搬出、尿の淨化装置等極めて住みよく且衛生的に設備が完備し全く人が羨む程の堂々たるものである

◊橋 梁◊

〔大阪深里橋近く竣工〕 大阪市土木部の設計監督により目下着工中の深里橋は愈々近く

竣する見込である因に同橋の位置は道頓堀に跨がり西區西道頓堀通一丁目から浪速區湊町に架せられんとするもので舊橋は幅員四十九尺八、渡長百七十九尺九、木塊鋪有軌道鉄桁橋であつたものを今回改築せられたものである。

而して新橋は橋型三徑間ケルバー式鉄桁斜架橋斜角左七十七度二十九分、有効幅員三十三米七内軌道五米六五、東道左五米三五宛、歩道左右三米九宛、橋長五十一米四、有効橋面積千三百四十二平方米、構造は主桁高一米二三の鉄桁を九分通りケルバー式に架渡し、其の桁間概子二米八、橋臺は基礎混擬土の前部底面を基準面下二米二五とし、敷幅四米六五の「モニー」式鐵筋コンクリート壁を袖石張とし杭及割栗地形の上に築造するものである、而して橋床の上に軌道は石板、車道は木塊、人道はコンクリートタイル舗装を夫々施すもので高欄は高一米の石造高欄で橋上に於いては橋臺兩詰四ヶ所及橋脚直上四ヶ所に更に橋側には橋脚上に四ヶ所に夫々清新なる意匠を以て電燈を裝置するものである。

○ 和歌山・京橋工事記要 ○

位置	國道十六號線（和歌山市堺川本町一丁目・十二番地）
起工	昭和三年六月二十六日
構造	無鉤式鐵筋混擬土拱一徑間
徑間	二六・九〇米（一四、七九間）
橋長	三七・二四米（二〇、四八間）
幅員	一八・一八米（一〇間）
橋面	一、電車軌道、ソリテチットコンクリート、二、車道木塊、三、歩道アスファルトプロダクタ
照明	燈柱 四基、各一基に付一〇〇ワット五個、兩側面中央に一〇〇ワット各一個、計二二〇ワット
竣工	昭和四年十二月三十一日、昭和五年二月二日開通
工費	一三四、二三〇圓内半額は京阪電氣鐵道株式會社負擔、國庫補助四分之一（坪當り六五五圓）

◆發電所◆

大淀川 3 萬 k 大淀川電力三萬キロ水力發電
發電所着々進工 所はその後着々工事の進捗を

見來年四月末には完成發電の豫定である。該發電所の出力は同社傍系電氣化學工業九州工場増設に當てるもので發電早々電氣化學工業でも増産を目論んであるものである。現在の九州工場の硫安製產は年額大約三萬四、五千噸と云はれ右の計畫實施を見れば年額七萬噸程度の製產可能となる譯である。

工事を急ぐ 九州送電株式會社に於ては日下工山須發電所 事中の耳川水系山須原發電所は住友名義のもので三、〇〇〇キロの容量であるといふが來年夏期竣工の上は九州送電が権利を譲り受け豫定であり着々工事を進めてゐる、猶同發電所の規模は使用水量一、四〇〇個有効落差一三三・五尺、又これに附屬して路工作物として一延長一、三五〇間の隧道工事あり六七尺の堰堤工事がある、而して貯水量は四〇、七七六〇〇立方尺であると

鶴見に萬の 日本電力では豫て神奈川縣鶴見に火力發電所 東京送電補給用火力發電所設立の認可申請中だつたが、3月27日附を以て實施な許可された。同發電所は容量3萬5キロ發電機1台、豫備1臺臺を据付け、建設費82萬3千圓を以て本年内中に完成の豫定である。

この火力發電所は、日本電力が東京地方電力供給を行ふためには黒部川柳河原發電所（5萬キロ）が當時1萬7千キロしか使用し得ぬため、補給用として欠くべからざるものであるから、昨秋日本電力へ東京區域供給認可された時、然同時に許可せらるべきものであつたが、同火力發電所設立地の鶴見は、鐵道省、富士電力東京電燈等の送電線の中心を地であるから、従つて送電線が錯雜してゐるので、遞信省ではこの處理に tema どつてゐたのである。

スピード時代の可動橋

抑も可動橋は大別して垂直面に動くものと水平面に動くものとの二種とするが、水平面に動く彼の鶴綠江の迴轉橋の如きは、其の開閉に三十秒以上の時間を要し、到底今日の如きスピード時代には間に合はない。故に垂直面に動く様式を以て超スピード時代に合致せし様式とせねばならぬ。

其の垂直面に動く様式はバスキュール式リフト式等あり、何れも二十秒以上九十秒にて一回の開閉を掌らしむる事が出來至極便利なものである。此種の可動橋は、本誌にも屢々發表された様に、我國の東西十數箇所に架設され、何れも所期の成績を挙げてそれぞれの目的を充分にしてゐる。（28ページの續き）